

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M211N203		保健学(学校保健を含む) (Health Sciences (Including School Health))					健康科学		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	2	医学部看護学科	後期	金3	日本語				オムニバス						
担当教員	氏名 加隈哲也、三重野英子、脇幸子、幸松美智子、岩本祐一、金崎理子、箕河原靖子、廣田美咲、廣瀬亜希 E-mail kakuma@oita-u.ac.jp 内線 5033															
授業の概要	「健康」という定義は奥深く、曖昧なものである。単に、疾病の裏返しといった視点ではなく、健康に関連する文化的・社会的背景を学ぶことも重要である。「病氣」ならびに「健康」に社会がどう対応してきたか、また対応すべきかを考える。また保健学の教育は、共生社会の実現にむけた多職種連携教育の糧でもある。医師、看護師、保健師の経験を有する教員が、各専門領域の立場や視点からオムニバス形式で保健学に関する講義を行う。															
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	「病氣」や「健康」が、生物的・化学的・物理的要因からだけでなく、社会的にも構築されている実態を説明できる									○			○	○		
目標2																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)										6			1	3		
授業の内容																
1 オリエンテーション、保健医療における性に関わる諸問題																
2 健康危機管理、災害と保健活動1																
3 健康危機管理、災害と保健活動2																
4 学外実習、緊急消防援助隊合同訓練1																
5 学外実習、緊急消防援助隊合同訓練2																
6 学外実習、緊急消防援助隊合同訓練3																
7 学校保健の基本、学校保健における健康課題と対策1																
8 学校保健の基本、学校保健における健康課題と対策2																
9 産業保健の基本、産業保健における健康課題と対策1																
10 産業保健の基本、産業保健における健康課題と対策2																
11 健康や病いの要因とヘルスケアシステムの変遷																
12 子育ての現状(親業・育児不安・虐待など)																
13 近年の精神保健に関する様々な課題																
14 薬害・健康被害の歴史と保健活動																
15 講義全体のまとめ																
ラック ニ ング	A:知識の定着・確認		○		穴埋め資料、小テスト、自己評価票				工 夫 そ の 他 の	適宜、協同学習の技法を取り入れる。話し合いの技法として、Think-Pair-Shareを用いる。 問題解決の技法として、Case Studyを用いる。 実務経験者がオムニバス形式で講義する。						
	B:意見の表現・交換		○		Think-Pair-Share、質疑応答											
	C:応用志向		○		Case Study											
	D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		教科書などを用いて、次回の学習内容について予習する(6h)。													
	事後学修		配布資料や教科書および参考書を用いて授業で学習した内容を復習する(6h)。													
	想定時間合計		12													
教科書	特に指定なし															
参考書	医療情報科学研究所(編集):「公衆衛生がみえる」2024-2025、メディックメディア、ISBN 9784896329285。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	随時小テスト		20%	○									
	期末試験		80%	○									
注意事項													
備考													
リンク													
		URL											
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の実務 経験		医師（産業医）、看護師、保健師											
実務経験を いかした教育内容		学生や職員の定期健康診断の実務、ならびに、健診データを用いて研究発表するとともに保健指導を実践した経験から、学校保健、産業保健について講義する。看護学科の各領域の教員が、各専門領域の立場や視点から保健学に関する講義を行う。											